# Housing Design

## Kobe Shoin Women's University

ファッション・ハウジングデザイン学科

ハウジングデザイン作品集　vol.2

# Housing Design

ハウジングデザイン作品集 2014

神戸松蔭女子学院大学 人間科学部
ファッション・ハウジングデザイン学科

ハウジングデザイン作品集 2014 の刊行について

わたしたちのファッション・ハウジングデザイン学科は 2008 年に誕生しました。学科の半分を占めるハウジング領域では、住居学・建築学をひととおり修めるカリキュラムを用意しています。2014 年春に 3 度目の卒業生を出した時点で、優秀作品を集めた作品集を作成しました。さいわい第 1 集は、学科で行っている教育研究の内容がわかりやすいと好評でした。今回は 2014 年度の作品を中心に第 2 集を編んでみました。

卒業研究としての作品をはじめ、各学年における演習・実習でのヴィジュアルな成果物を中心に構成しています。 1 年生からいくつかの基礎的なデザインの課題にとりくみ、2 年生・3 年生で独立住宅・集合住宅・インテリアデザインの課題をこなします。そのあいだに CAD ソフト Vectorworks を使えるようにしています。4 年生の卒業研究ではさまざまなタイプの設計に挑みます。また、卒業研究としては、照明や家具を設計し現物をも作成するものや、研究的な写真集を作成したりもしています。それらの 全体 記録としています。

カリキュラムや教員の構成のかんたんな紹介も付け加えておきます。感想や批評があれば、ぜひお寄せください。

2015.10

ハウジングデザイン領域代表

教授　中林　浩

# Contents


1st year　1年生作品 …… 3

「イメージリテラシーⅠ・Ⅱ」 3つの授業紹介

2nd year　2年生作品 …… 7

「六甲大月台の住宅」4題

「芦屋に建つ併用住宅」3題

3rd year　3年生作品 …… 13

「店舗併用住宅のリノベーション」3題

「ガーデニング論」より

4th year　4年生作品 …… 19

「卒業研究」

Project　プロジェクト作品 …… 36

乙仲通界隈プロジェクト

東北・東日本大震災被災地での活動

ハウジングデザイン展／Flower Light プロジェクト

ハウジングデザインの学び紹介 …… 50

卒業生／教員紹介 …… 52

# 1st year

## 1年生作品

前期　イメージリテラシーⅠ
　　（生活アート実習）
後期　イメージリテラシーⅡ
　　（デザインスキル実習）

「生活アート実習」では、身近な生活雑貨の制作を通して、感性と基礎的な造形力を養います。「デザインスキル実習」では、模型制作により様々な空間を表現する課題や、初歩的なインテリアデザイン課題に取り組みます。

# ものに対する想いを育む

## イメージリテラシーⅠ（生活アート実習）

デザインスキル能力向上の一部分として、ごく身近なファッションやインテリア関連小物の制作を行います。イメージやコンセプトを具体的な物として実現するプロセスに習熟すると同時に、実際に制作することを通して“もの”あるいは素材に対する想いを育むことを目的としています。

ハート・イン・ハート！

本格派のお箸。何故１本なの？

手提げではなくて、首提げバッグです。

んっ？パンダかな？

握り締めたくなるような十字架ペンダント。

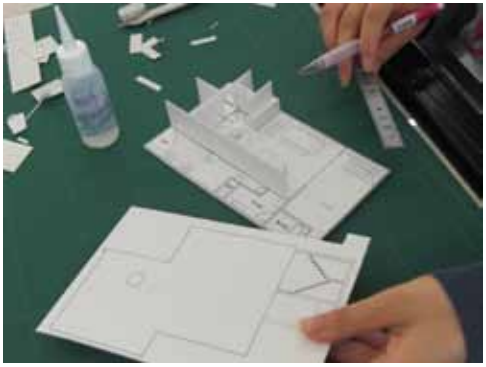
めっちゃクールなペンダント！

ウニ？いえいえ胸で輝く太陽なのです。

# 生活空間を立体的に把握する

## イメージリテラシーⅡ（デザインスキル実習）

デザイン関連の基礎学習として、模型制作は重要で、特にハウジング分野では習熟すべき不可欠のスキルです。本実習では２年次以降の多様な模型制作のスタートとして、またパソコンによるＣＧなどでは表現しにくい空間イメージ把握を目的に、初歩的な模型制作を行います。実習内容は、模型制作の意味の解説と材料や実際の模型作品の紹介から始めて、インテリアと家具模型、住居、店舗などを紙やスチレンボードなどの材料で制作していきます。

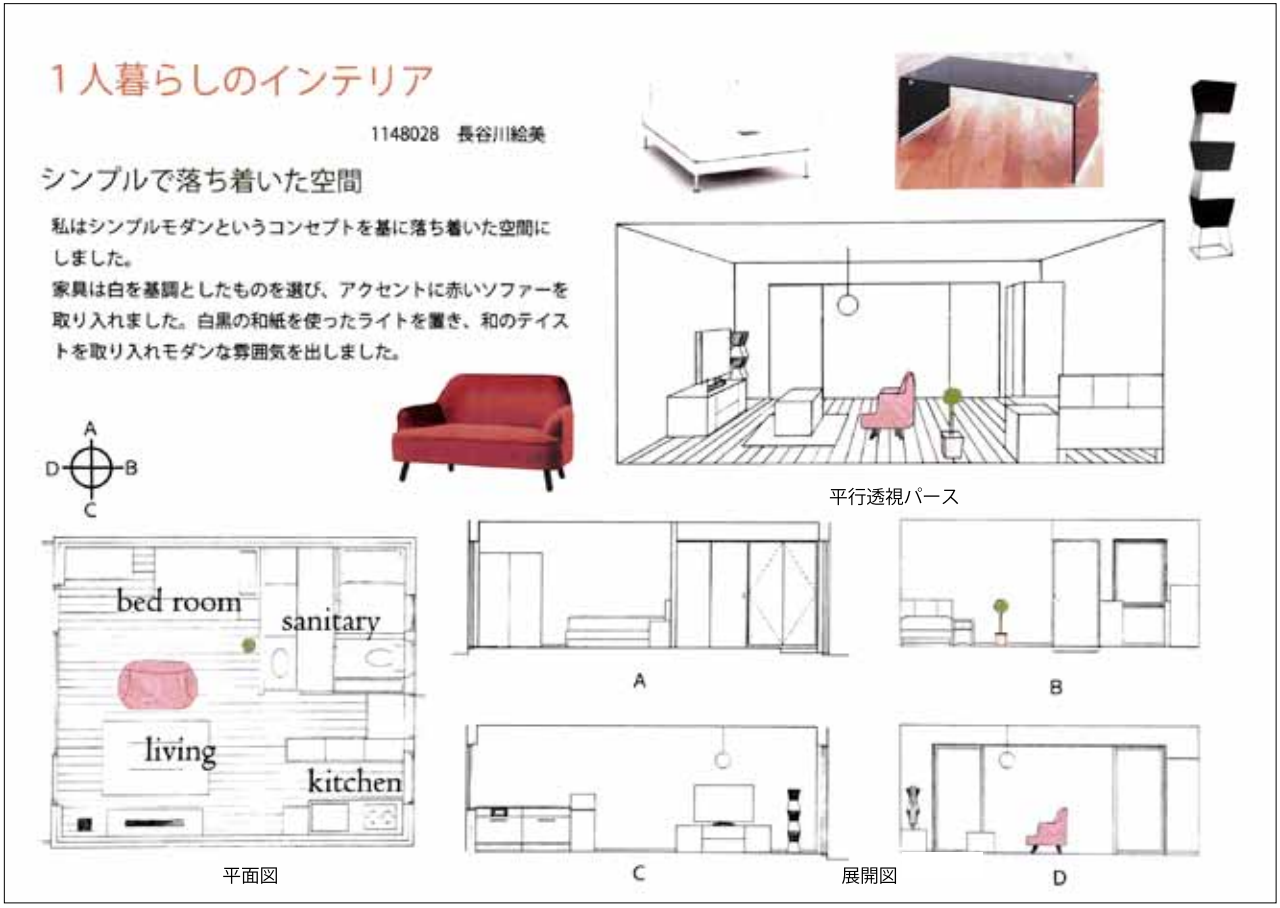


# インテリアデザインの基礎を学ぶ

## イメージリテラシーⅡ　（デザインスキル実習）

デザイナーズチェアなど、優れた作品にふれながら、インテリアデザインの考え方と表現方法の基礎を身につけます。基本的な図法を用いたドローイングや、平面図、展開図などの２次元図法、アクソメやパースなどの３次元図法を学びます。また様々なインテリアエレメントについてリサーチし、マンション住戸での一人暮らしという設定で、インテリア・コーディネートし、表現する課題に取り組みます。

デザイナーズチェアのドローイング



# 2nd year

## ２年生作品

前期　ハウジングデザイン実習ⅠA・ⅠB

「大月台の住宅」

住宅設計の考え方と設計製図の基礎ー手描きとCADによる図面表現、模型表現を学ぶことーからはじまり、六甲山麓の眺望のよい住宅地に敷地を設定。各自の構想に基づく、初めての住宅設計課題に取り組んだ。

後期　ハウジングデザイン実習ⅡA・ⅡB

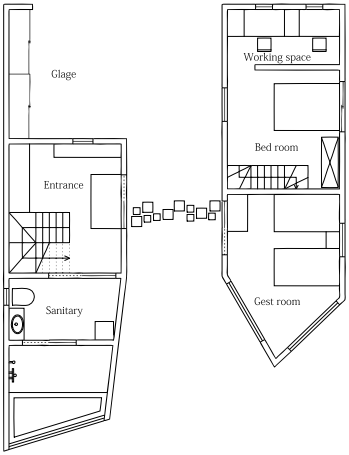
「芦屋の併用住宅」

芦屋川周辺に敷地候補地を２ヶ所設定。地域性を読み解きながら、住宅に併設される店舗やオフィス、教室等の機能とライフスタイルを各自が設定。いずれかの敷地を選び、建築とインテリアデザインの計画に取り組んだ。

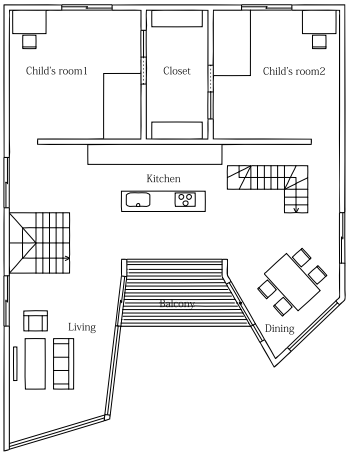
## Telescope House

山田 幸奈

六甲の眺望を身近に感じることができる住宅である。家族全員（夫婦と子供 2 人）が毎日過ごしリラックスする場所であるリビング・ダイニング・バスルーム、また来客用のゲストルームに多くの採光と良い眺望を取り入れるために、床から天井まである大きなガラスを南側のそれぞれの壁に取り付けた。




1F 平面図

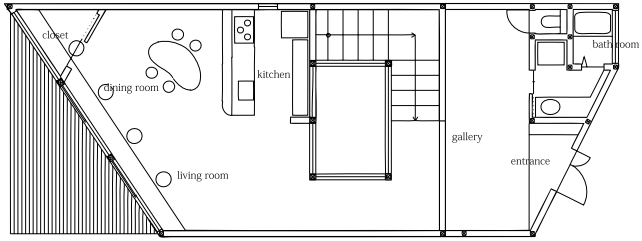



2F 平面図

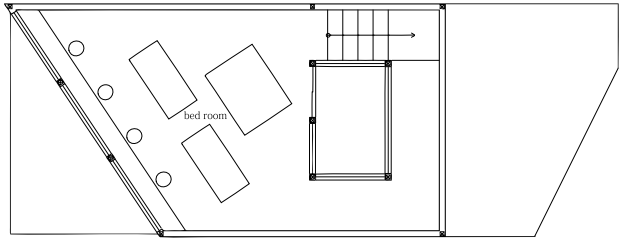
## おしゃれする家

堀内 佳奈子

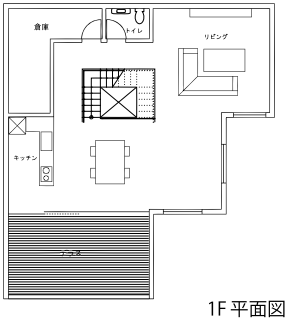
「おしゃれする家」は趣味と家族を大切にする家である。写真好きな住人のために広いギャラリーを設けた。また、一階南側にはリビング・ダイニング・キッチンがあり、大きな開口から神戸の町並みが一望できる。白い庭には様々な草木が植えられ、季節を感じられる場所となっている。



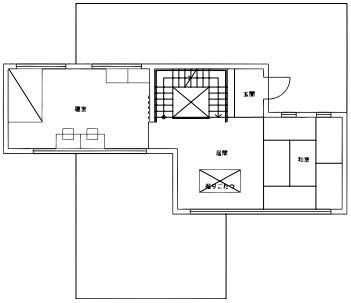

1F 平面図



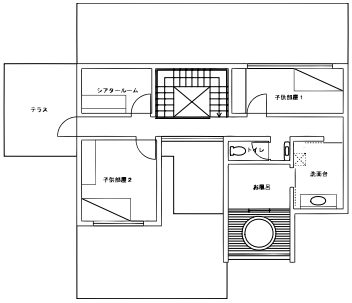

地下1F 平面図




1F 平面図




2F 平面図

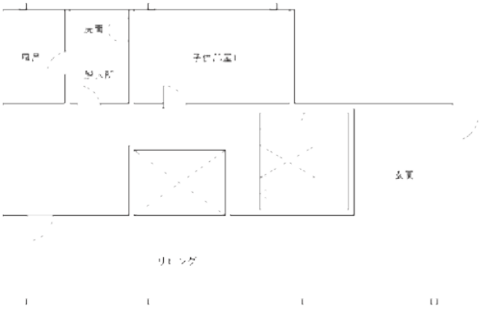



3F 平面図

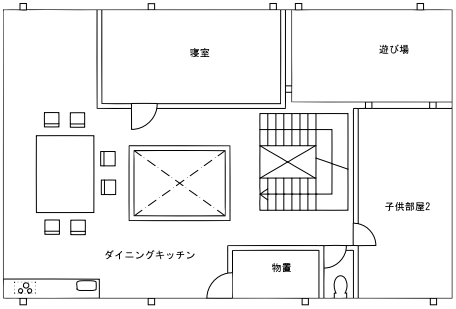
## Block Balance House

太田 美菜子

「block balance house」は夫婦と子供二人が住む家である。設計趣旨は作品名の通り、様々な居室空間を四角いヴォリュームとして捉え、それぞれの組み合わせやバランスを考えて設計した。建物の凹凸を利用してテラスや露天風呂といった外部空間を作り、見晴らしの良い景色と光を取り込むために崖側の窓を広く作った。




1F 平面図

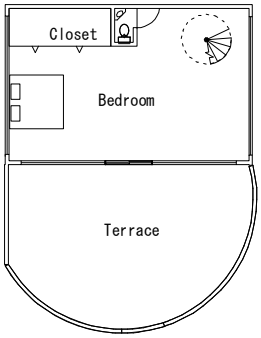



2F 平面図

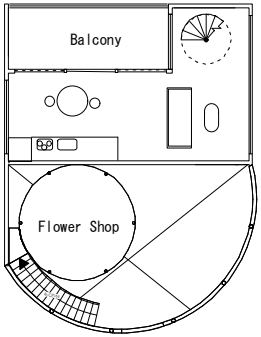
## nanural hause~ 自然と共に生きる～

上田 美晴

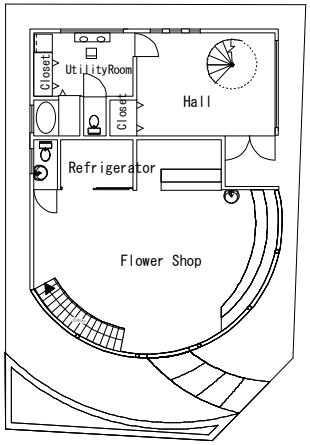
この家は「自然と共に生きる」というコンセプトでつくった。毎日の生活のなかで常に自然を感じることができるように、外壁をすべてガラス張りにし、家の周りに樹木をたくさん植えた。また、毎日の生活に六甲の景色を取り込むために 3 階の部分に屋上をつくり、いつでも山の上からの景色を楽しめるようにした。




3F PLAN




2F PLAN

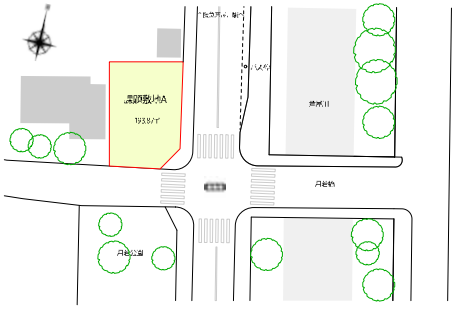



配置図／ 1F PLAN

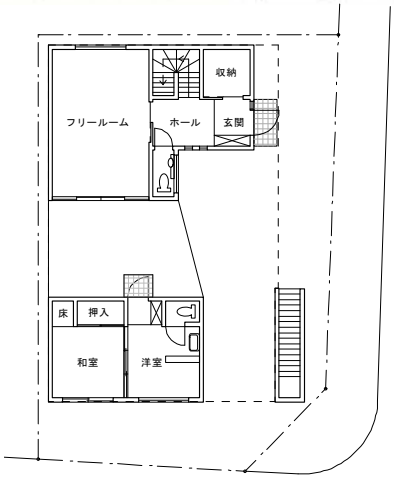
# Fleuriste

吉田 朋可

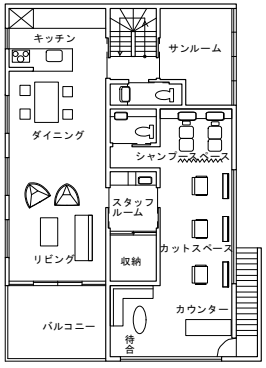
Fleuriste はフランス語でお花屋さんという意味。道のどこから見ても中が見え、お花屋さんと分かるように、ガラス張りで丸みのある形とし、二階部分を小さくして吹き抜けを大きく取り、開放感のある空間とした。たくさんの植物と関れるように、庭には、大きな花壇をつくり、敷地全体を芝生にした。芦屋にあう建物にするために、外観をすべて白にそろえてシンプルに。住居の部分も、あまり仕切りを作らず、開放感を感じられるようにした。



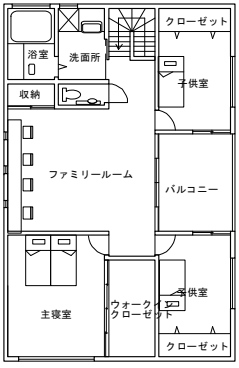

SITE PLAN




配置図／ 1F PLAN




2F PLAN

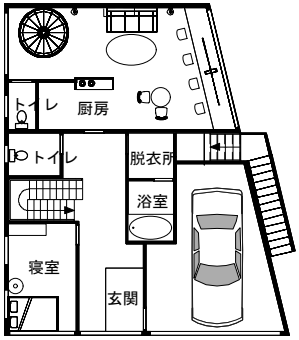



3F PLAN

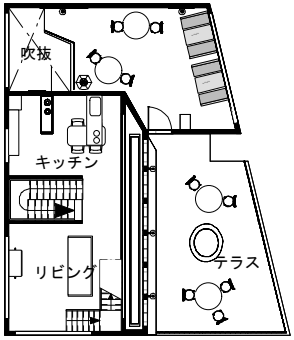
## ＋ plus

太田 ともえ

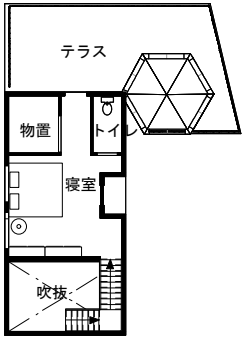
阪急芦屋川駅に近い川沿いの敷地に建つ、住居と美容室の併用住宅。
住宅をデザインするにあたり、明るく開放的なものにしたかった。
そこでイメージしたのが「光」＋「白」＋「遊び心」であった。
向かいにある桜並木や川を眺められるように美容室の部分は２階に配置。
店名も、お客さんが本来持っている個性を引き立たせ、美しさをプラス
するお手伝いが出来ますように…という思いを込めて「+plus」とした。



1F PLAN



2F PLAN

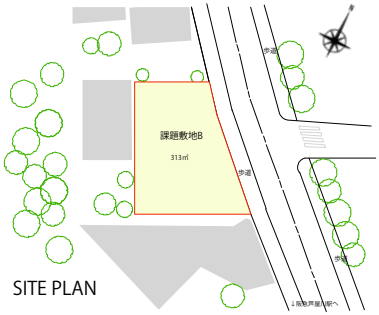


3F PLAN

# Cafe du Soleil

太田 美菜子

Cafe du Soleil の Soleil とは、フランス語で太陽という意味で、自然に囲まれたカフェにしたくて山手の敷地を選んだ。都会の喧騒を忘れて時間を気にせずゆっくりとお茶が出来るように、内観も植物にこだわり自然を感じられリラックス出来る空間にした。テラスにはアーチ状の回廊と花壇をつくり、気候が良い時期にはそこでお茶もでき、２Ｆのリビングからも花壇が見えるように、高さに合わせた窓を作った。花壇、フェンス、看板、ステンドガラスにもこだわって、自分でデザインした。



SITE PLAN

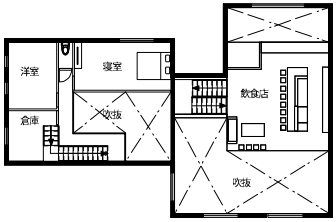
# 3rd year

## ３年生作品

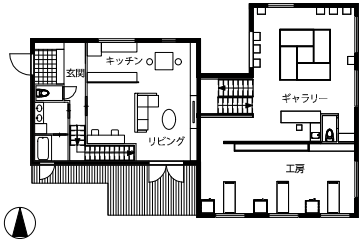
イメージリテラシーＶ
（プレゼンテーション演習）
＋インテリアデザイン実習

店舗併用住宅のリノベーション計画。立地条件、家族構成などを各自条件設定し、業種・コンセプトなど店舗内容を企画。インテリアについても詳細にデザインし、３Ｄパースや模型で表現しました。

ガーデニング論




2F PLAN



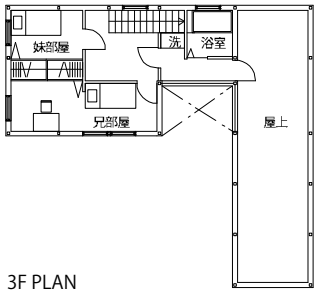

1F PLAN

ELEVATION

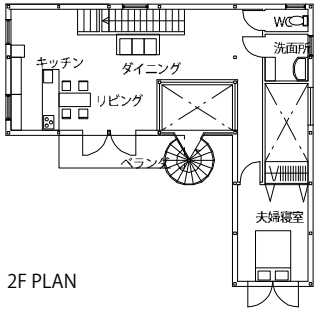
## 白壁硝子堂

小林 柚希

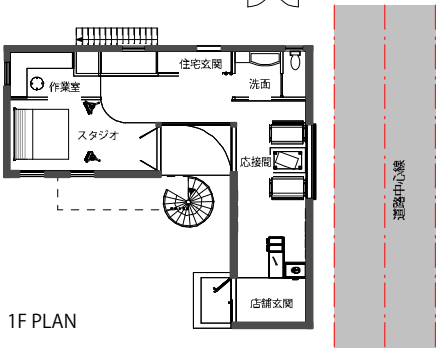
白壁の伝統的な酒蔵などが立ち並ぶ灘のまちにガラス工房を計画した。外観、内装ともに酒蔵をイメージし「白」と「黒」をメインに用い、かつモダンな印象にした。コンセプトは、「ガラス×日本酒」。１階をメインとし、作品の展示・販売をしているギャラリーや、オリジナルグラスの制作体験ができる工房を。２階飲食店では、ガラス作家である店主がつくった器で灘の銘酒や小料理を愉しめる店舗を計画した。




3F PLAN




2F PLAN

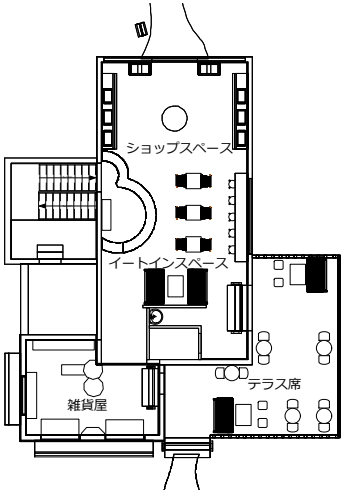



1F PLAN

## 冴野写真館

吉岡 沙映

神戸の北野に建つ併用住宅。1 階は写真館の店舗空間、2.3 階に家族が住む住居空間にしました。「思い出を形に残す。」をコンセプトに、一日一組〜二組のゆったりしたペースで撮影をおこない、お客様の様々な要望に答えながら素敵な思い出づくりのお手伝いをしています。室内のスタジオ、屋外のらせん階段を使って写真を撮ります。外観は洋館のような佇まいで店内はレトロモダンな店づくりをしています。

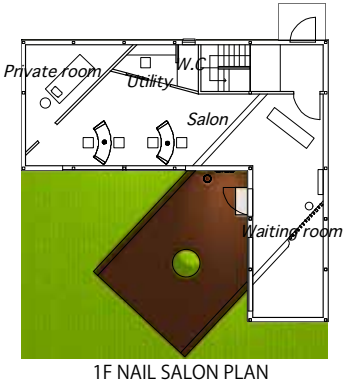



1F BAKERY　PLAN

## パンと雑貨の店 montagne

南 奈緒

阪急六甲駅の近く、六甲山をのぞむ位置にあるこのお店は、夫婦２人で始めたベーカリーと雑貨屋で、店名「montagne」はフランス語で " 山 " という意味。雑貨屋では、奥さんの選んだ雑貨や手作りの雑貨を販売。ヨーロッパの小さな雑貨屋をイメージした。ベーカリーには、イートインスペースを設けて、木のぬくもりと、吹抜の天窓から射し込む柔らかな光でリラックスしながら、焼きたてのパンを楽しめる空間にした。



1F NAIL SALON PLAN

## Terilla

田中 沙季

東京都渋谷区に位置する代官山に緑で溢れるネイルサロンを建てたと想定。お客様の手をスタッフの手を使って綺麗にして差し上げる。そしてお客様は爪のオシャレだけではなく、ここに癒しを求めて来てもらえるよなサロンにした。幅広い年齢層の方々が誰でも気軽に立ち寄れ待ち時間や施術中、ゆったりと庭をみることができる。贅沢な時間を過ごしてもらえるようにした。

# EDIBLE GARDEN

1 ブッドレア
2 アスチルベ
3 スノーフレーク
4 ヤマブキ
5 ブドウムスカリ
6 シャクヤク
7 ノウゼンガズラ
8 ギンヨウアカシヤ
9 カンナ
10 ジンチョウゲ
11 レンギョウ
12 ペンタス
13 ザクロ（シンボルツリー）
14 クロサンドラ
15 クレマチス
16 ランタナ
17 シマトネリコ
20 ユーカリ
19 アジサイ
20 アラレア
21 ブルーベリー
22 オリーブ
23 レ モン
24 ブドウ
25 トマト
26 キュウリ
27 ピーマン
28 ムラサキキャベツ

# 食べる庭。

## 食べる庭。

小林柚希

この庭の大きな特徴である「食べる」に注目して、庭のいたる場所に果樹を植えた。玄関側の目立つ場所には真っ赤で鮮やかな「ガクロ」の木をシンボルツリーとして配置。その他「レモン」、「ブルーベリー」、「オリーブ」、そして葡萄棚を設け「ブドウ」なども栽培している。とれたての果物をもぎとってその場で食べられるおいしい庭となっている。土からとれた新鮮な野菜を食卓で食べられる。家庭菜園ができる「野菜畑」を計画した。ここでは、「キャベツ」、「トマト」、「胡瓜」、「ピーマン」などを収穫できる。親子で実際に野菜をつくることによって、子供の好き嫌いをなくすなど、食育にもつながるだろう。庭でパーティをするという、施主の希望を聞き入れて、ウッドデッキと大きなテーブルとベンチイス、パラソルを設置した。このウッドデッキは駐車場と野菜畑の二方向に行けるようになっている。全体的な庭のイメージと統一するため駐車場もナチュラルなものとして、素材に「枕木」を使用した。枕木の隙間から芝生の緑をのぞかせることにより、より自然らしさを表現した。大人だけが見て楽しめる庭にするのではなく、子供も楽しく遊び、健やかに育てるゆたかな庭を作るため、敷地内には芝生を植え、たくさんの樹木、花を植えた。この自然いっぱいの空間で近所のこともたちと一緒に鬼ごっこや、かくれんぼなどをして目いっぱい遊んでほしいと考える。

# 4th year
## ４ 年 生 作 品

卒業研究

４年間の学びの総仕上げとして、各自のテーマを設定して深く研究し、作品制作または論文にまとめる。ハウジングデザイン領域には３つのゼミがあり、まちづくり、住居全般、インテリアデザインと幅広い対象の中から、各自の興味に従い、テーマを見いだして取り組んだ。

ヘレス・デ・ラ・フロンテーラ
Jerez de la Frontera
スペイン南部
アンダルシア地方の都市　人口 20 万

毎週日曜日、広場で行われる蚤の市

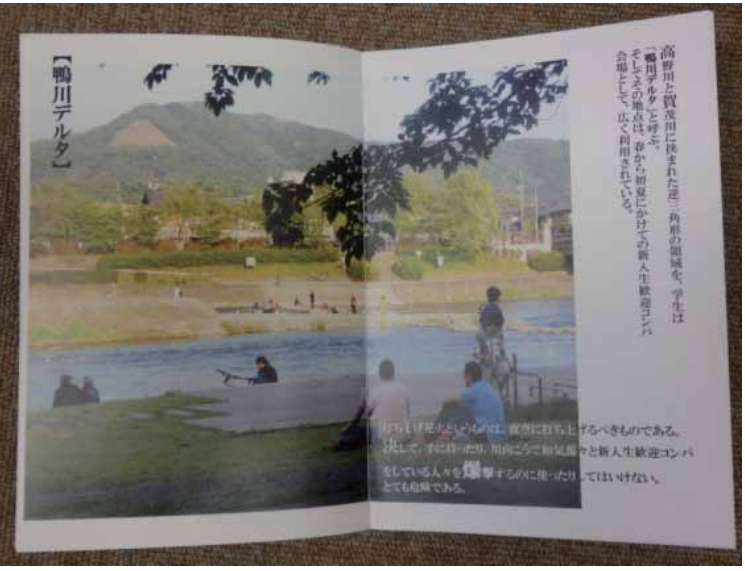
## 研究写真帳　フラメンコ探しに出かけて

山崎桃子

私は大学を一年休学し、スペインに行くことにした。理由はただスペインを、フラメンコを生で感じてみたかったからだ。学生ビザは取らず、観光ビザで滞在出来る最長の三ヶ月間の滞在を二度することにした。一人で旅行したことはないし、一人で生活したこともない。スペイン語は全く話せないし、読むこともできない。英語だってからきし出来ない。でも「行きたい」と思ってしまったのだ。

私は Ana Maria Lopez という踊り手のクラスに参加した。ブレリアという踊りのクラスだったのだが、かなり実践重視。ブレリアはペーニャのところで紹介した "fin de fiesta" でよく唄われる曲で、実践重視というのはまさに "fin de fiesta" を再現したようなクラス、生唄、生ギターで、それに合わせて踊るのだ。
一応最初に簡単な振り付けを教えてくれる。その後一人でちょっと復習し、すぐ実践。唄やギターやパルマ ( 手拍子 ) の輪の中で一人で踊る。
毎回唄が変わるので、振り付け通りに踊っているだけでは対応できず難しい。
しかし、生唄、生ギターなのでテンションが上がるし、ハレオ ( 掛け声 ) も飛び交い、とっても楽しい。
このクラスでは即興性と唄を聞く耳、コンパス ( リズム ) 感、踊り心を養ってくれる。あと、輪の中に飛び込む度胸も。

スペインにはペーニャという場所がある。ペーニャは日本語で「集まり、会、サークル」という意味があり、同じ趣味の人が集まり楽しむ場所だ。
フラメンコのペーニャも数多くあり、ペーニャの会員さんの会費でライブがよく行われる。会員じゃなくても見に行くことができ、しかもすごく安く、もしくは無料で見ることができる。強制ではないが、会員でない人は最低 1 杯はドリンクを買うという暗黙のルールがある。少しでもライブの足しになればという思いと、感謝の気持ちだ。といっても、ドリンクはだいたい 1 ユーロと激安。本当にありがたい場所だ。



## 聖地巡礼舞台探訪　森見登美彦に見る京都

池端杏奈

森見登美彦の小説　世界遺産のような一級の文化財とそうでない建物を並列に扱い小説の中で普通感を出している。登場人物のばかげた行動や非現実的なことが京都の景観をうまく使っていて、京都のおしとやかさをうまくひきたてながら覆している。登場人物が「学生の町京都」をよくある評価ではなく実感のこもったものとなっている。

### 研究写真帳について

「研究写真帳」という様式を追及しています。研究論文が文章中心でオリジナルな発見を表現しているのに対して、写真を多用して都市や地域空間の分析・問題の解明を行おうという試みです。フォト・ジャーナリストによる報道写真が文字だけの記事ではできない視覚的なメッセージを持っているようなものです。したがって、フォト・ドキュメンタリーとか、フォト・エッセイとかいうジャンルに近くなります。芸術写真としての性格をもつことも心がけています。
基本は自分で撮った写真を使いますが、自分の家族などが撮った古い写真を使う場合もありえます。
分量はおおむねＡ４で 40 ページ以上と考えています。

Bonbon cafe

路上でじたばたする蛾から逃れようと恐ろしい速さで賀茂大橋の西詰へ走って行った。そうして、夕闇の中へ柔らかな光を放つカフェの前でへたりこんだ。

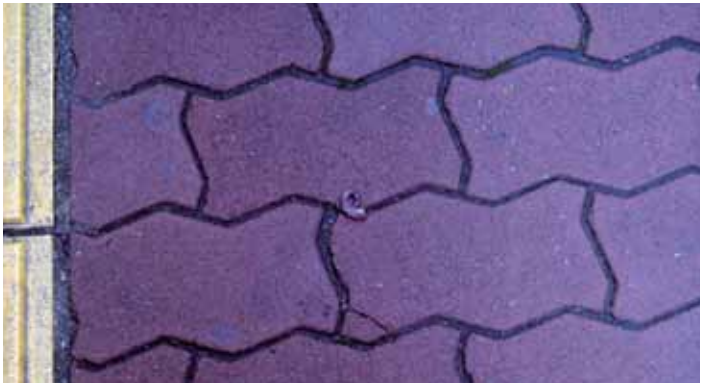
私　あまり長く古本市をうろついていると、きまって偏頭痛におそわれ、悲観的になり、自虐的になり、動機息切れがし、ついには自家中毒を起こす、たとえ下宿へ帰りついたにせよ、玲瓏たる美女に手術台に縛りつけられて、裁断した平凡社世界大百科事典を喰わされる夢を見る。

黒髪の乙女　下鴨神社の森に足を踏み入れて蝉時雨を浴びながら、どこまでも続く古本の洪水を見たときの感動を、私は忘れることがないでしょう。この古本の大海で、いくらでも素晴らしい本と出会うことができるのだと考えると、武者震いがして、むんと胸をはりたくなりました。

## オモワズ二度見スル - オモロイ大阪 -

中里桐花

大阪を中心に撮影を進め、シャッターを切る中で浮かんできたテーマがあります。「攻める」という言葉です。大阪で撮った風景はどれもグイグイと押し寄せてくるようなそんな迫力を感じるのです。そこで私はハッソウ攻、コトバ攻、カタチ攻の３つの攻めるに分けて写真をまとめました。ハッソウ攻とは、大阪ならではのユーモアな発想の写真を集め。コトバ攻とは張り紙やポスターなどの面白い物を集めました。カタチ攻とは物を表すもので、インパクトのある写真を集めました。たくさんシャッターを切って大阪を撮り、その中で面白いものを厳選しました。何気ない日常の中には面白いものが沢山あります。きっとそんな日常の中だからこそ、日々気に掛けるのは難しい、だから、面白さを写真で切り取って、皆さんに伝えたいと思いました。普段目にしているものでも角度を変えて見て見ると新しい発見が見つかるかもしれません。この写真集を見てなんのためになるのか、正直わかりませんが。私が伝えたいのは、私たちの日々の中には沢山発見が埋もれているということです。



タコの足が道端に落ちているなんて、実に大阪らしい。

寝屋川の住宅街で、車のボンネットの上に長靴が置かれている。干しているのか？
…長靴がここまで一人歩きしてきたのではないだろうか？

犬犬犬 ... と玄関に張られたシール。これは、この家に犬がいる事を表していると同時にこの犬の年齢を表している。シールは 12 枚。ここの犬はとても長生きしている。

ポストの上には小さなフィギュア達がならんでいる。ポストには「大きなものは階段へ」と書かれている。ポストに入りきらないものは階段に置いてくださいということだろうか。

「チラシ入れるな」と書かれた文字の後ろに、よく見ると「入れないで」と小さな文字で書かれている。なぐり書きで書かれた文字。「チラシ入んるな」どこか力が抜ける…。

玄関にカエルを置くといい縁を呼び寄せてくれるという意味がある。しかし、そのカエルが靴の下敷きに…。考えを " 変える " ことによって新たな使い道が発見されている。

## 単身高齢者と息子夫婦が住み続けられる住まいの提案

今井 沙也香

ゼミを通して高齢者の住まいの様々なかたちを学んだ。そこで、自分にとって一番身近な高齢者である祖母の住まいはどのようなかたちがより良い暮らしへと繋がるのか考えたいと思った。現在、私の祖母は戸建住宅でひとり暮らしをしている。83歳と高齢で、運動機能の低下はみられるものの、自力での生活が可能である。しかし、単身であることや老化から外出が億劫になったことから人とのふれ合いが減り、どこか寂しげな印象を受ける。祖母自身もひとりは不安で、祖母の息子夫婦も同居を望んでいるということで、二世帯住居のかたちで、新築建て替えの提案する。

### □建築提案上のポイント

**大きな窓：**光が多く入る明るい部屋。

**ルーバー：**見られたくないもの（ベランダの洗濯物など）を隠す。しかし光や風は通す。

**あえて塀をなくす：**外部との交わりを容易に。庭でガーデニングしていると、前を通ったご近所さんと顔を合わすことで会話がうまれるかもしれない。

**屋根：**坪庭に光が入るように傾きを取り入れる。

### □建築概要

場所 : 大阪府豊中市
敷地面積 :188.02 ㎡
建築面積 :102.78 ㎡
延床面積 :192.96 ㎡
建ペイ率 : 約 54.7%
容積率 : 約 197.2%

## 提案内容（1）―今後１０年間の生活―

家族構成は、祖母と、祖母の息子夫婦の３人です。息子夫婦の長女・長男は家を出て自立している。

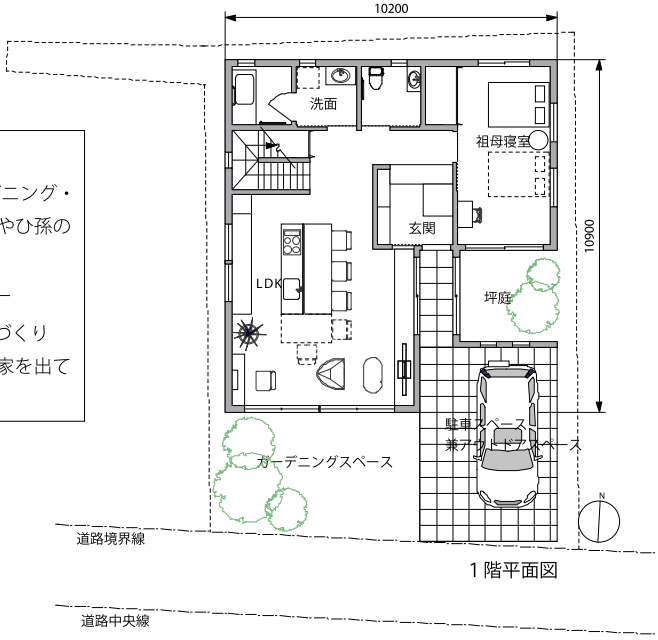
【家族構成】

祖母 (83)　趣味：料理・裁縫・ガーデニング・友人と食事会やコンサートに行く・孫やひ孫の成長を見届ける。

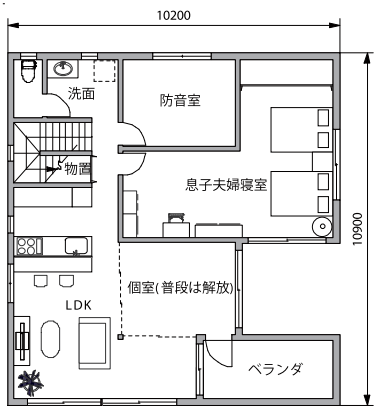
祖母の息子 (55)　会社員　趣味：ギター

息子の妻 (55)　会社員　趣味：お菓子づくり

※息子夫婦の長女 (27)・長男 (23) は家を出て自立している。




１階平面図




２階平面図

## 提案内容（2）―２０年後の生活―

息子夫婦 ( 共に 75 歳 ) と長男 (43 歳 ) 家族のための二世帯住居へ。

【家族構成】

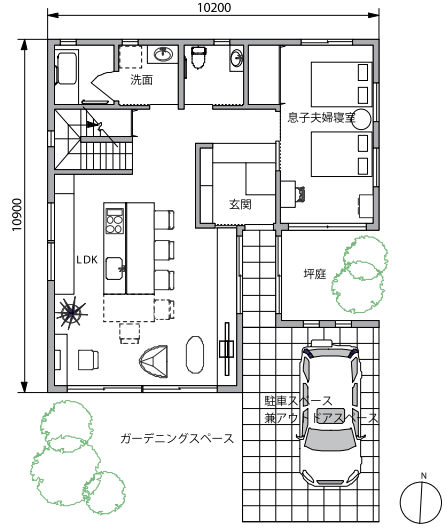
祖母の息子 (75)　定年退職　趣味：ギター

息子の妻 (75)　専業主婦　趣味：お菓子づくり、ガーデニング

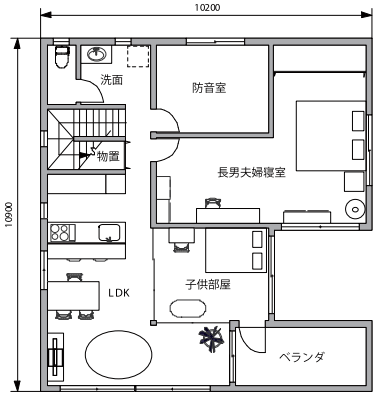
長男 (43)　会社員　趣味：アウトドア

長男の妻 (40)　パート

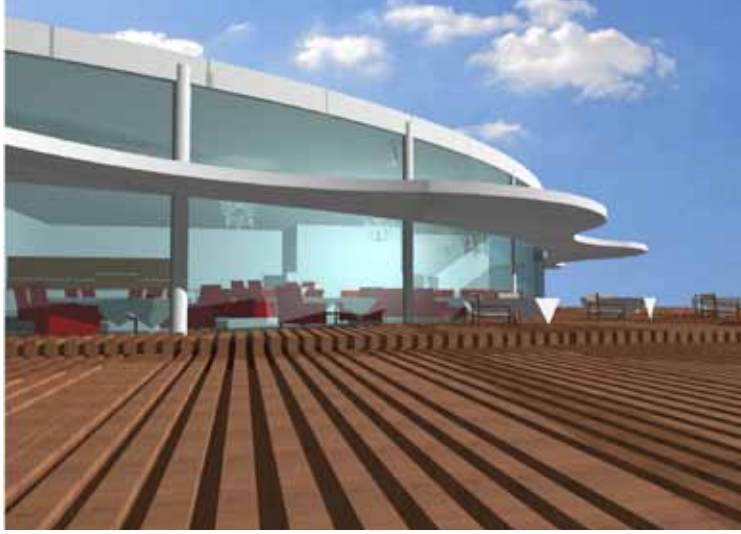
長男夫婦の子供 (15)　中学生




１階平面図




２階平面図



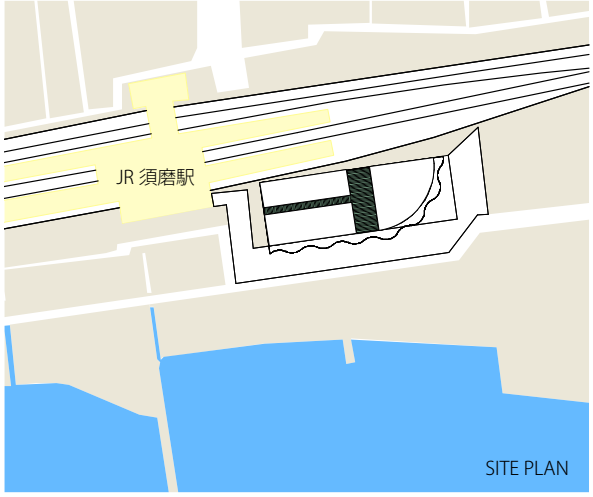
## Beach House　S.U.M.A.

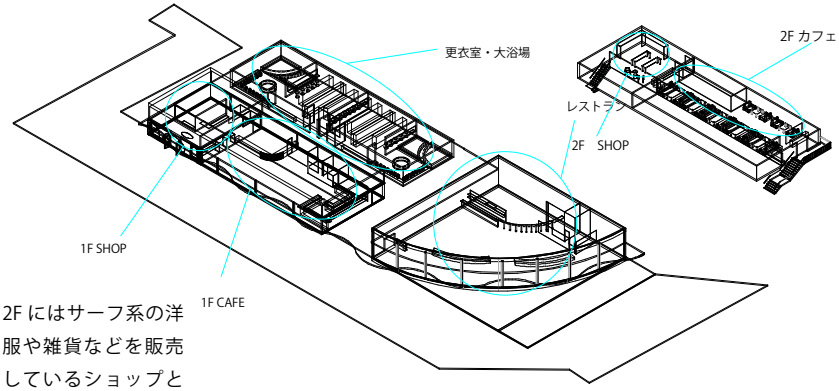
佐々木 理乃

私の地元でもある須磨は、海と山に囲まれた自然豊かな場所で観光スポットが多いが、食事をしたりゆっくり出来る場所が少ないと感じており、遠くに買い物や遊びに行くことが難しい高齢者の方や地元の人にも安らげる空間を作りたいと考えた。計画場所の JR 須磨駅の海側は砂浜に隣接した魅力ある場所だが、まだ充分に整備されていないことに着目し、「1 年中人が集まる場所」をコンセプトに、海を眺めながらゆったりとすごせる海外のリゾートのような雰囲気のショップ、カフェ、レストラン等、全体的に大きな窓と高めの天井で開放感を感じられるような空間を考えた。

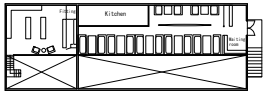
JR 須磨駅前の現況

駅に隣接した砂浜





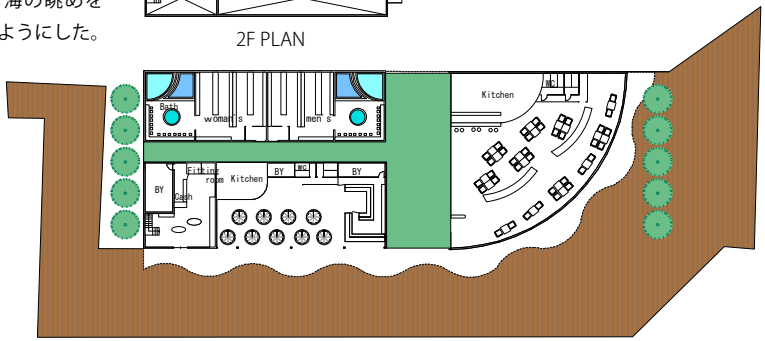

2F にはサーフ系の洋服や雑貨などを販売しているショップと子供連れも入りやすいカフェがあり、ここからも海の眺めを楽しめるようにした。




2F PLAN

夏は海水浴客で賑わう

1F には更衣室と大浴場、ショップ、カフェ、レストランを配置。海側にはウッドデッキで道をつくり建物も白に統一しリゾート感を演出。通りすがりの人が気軽に入れるように開口部を大きくした。建物の間には芝生を敷きつめ、屋根をパーゴラにして光が差し込むように計画した。




1F PLAN

## 姫路の仮設住宅とその後の転用住宅

定行 美羽

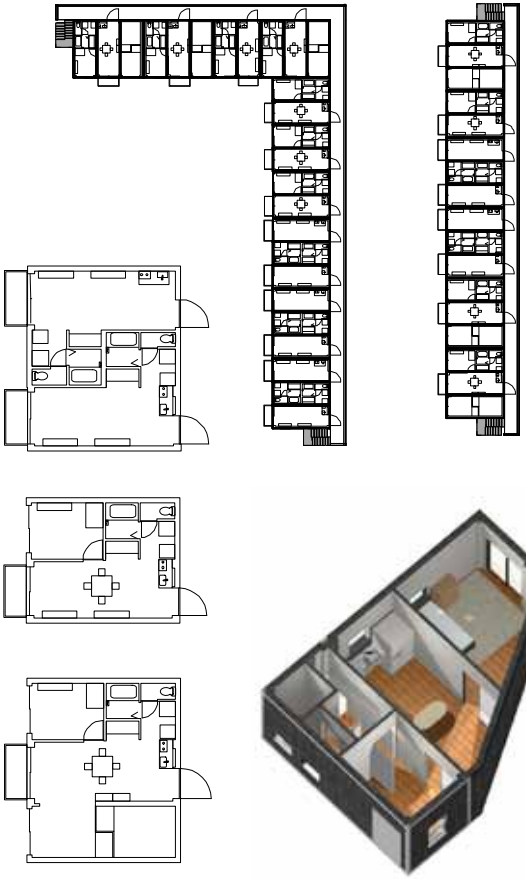
2013 年の夏休みに , 震災から 2 年半経った東北でのワークショップに参加した。仮設の建物を多く見たのをきっかけに、私の生まれ育った姫路で震災が起こった際の仮設住宅について興味を持ち、テーマとして設定。特に仮設住宅を建てた後、復興の二年後には仮設住宅を取り壊すということに疑問を持ち、その無駄をなくすため、仮設を常設住宅（恒久住宅）に転用しようと考えた。コンテナを使用した仮設住宅計画案とその転用事例として、自宅の建て替え案を作成した。転用することにより、国の負担も減り、短い期間で仮設住宅の生活から抜け出せるのではいかと考えた。

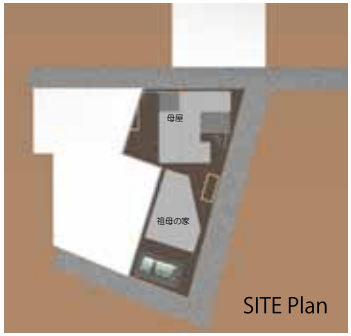
参考事例の一つ：女川町の仮設住宅（設計：坂茂）

## 仮設住宅の計画

姫路駅からも姫路城からも近い便利な場所に、まとめて計画した。仮設住宅は、全て３階建てで全部で８棟。形式は女川町の仮設住宅を参考にし、コンテナを用いたプランタイプを３つ考案した。単身者、二人住まい用の６坪タイプ、一世帯３～４人の９坪タイプ、それ以上の家族 12 坪タイプ。どのタイプをいくつにするか等の詳しいことは決めていないが、仮に全てを９坪タイプにすれば約 362 世帯入ることにる。真ん中には、仮設住宅の住民やたくさんの人が集まれる集会所を作り、住民同士のコミュニティも大事にしたいと考えた。公園の周りには小さな広場があるので、そこは仮設の店舗やボランティア団体が使えるスペースとした。

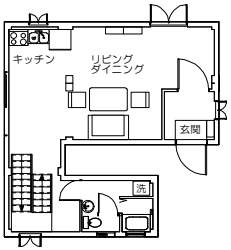
転用住宅
計画場所：兵庫県姫路市山野井町 ( 自宅)



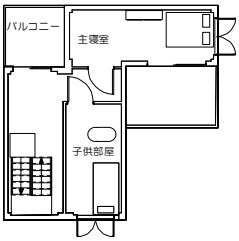



## 転用住宅の計画

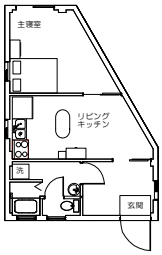
母屋は、１階と２階をそれぞれコンテナ４個分の計８個。祖母の家は、コンテナ２個分と違う素材でつなげた。母屋には、父、母、私の三人が住むので寝室は二つ。ダイニングキッチン、リビングは広くて明るく、庭に出られる。トイレ、浴室は仮設住宅の内装をそのままにして持ってこれるように設計した。祖母の家は平屋で、寝室から庭を通ると、母屋へ近道でつながる。




1F Plan




2F Plan



Leaf shade

## Leaf shade　～レーザーカッターによる照明制作～

神谷 真菜

あかりは様々な種類があり、形やデザインも豊富であるが、私はその中でもルイーズ・キャンベルがデザインした「collage」という作品に心惹かれた。この作品を参考に、私は心地よい空間を目指して、木漏れ日のような光や生物的なイメージを表現した立体的で繊細な照明を制作することにした。葉を拡大して見たときにあらわれる「葉脈」の細かい模様に着目。これをモチーフにして、樹脂強化和紙をレーザーカッターで加工。それをつなぎ合わせたシェードを何枚か重ね、サイズを少しずつ変えながら光の濃淡を出し、素材の特性を活かした柔らかな形にした。

網状脈の葉の写真を用いてillustratorで編集

パターン完成

部材表

| |
|---|
| ①シェードA（樹脂強化和紙） |
| ②シェードB（樹脂強化和紙） |
| ③シェードC（樹脂強化和紙） |
| ④スタンドA（アクリル5mm） |
| ⑤スタンドB（アクリル5mm） |
| ⑥カードリング（内径35mm・内径70mm） |
| ⑦ソケットベース（アクリル5mm） |
| ⑧LED電球 |
| ⑨ネジ（M3 30mm） |
| ⑩シェード軸3本（アクリル3mm） |
| ⑪ソケット |

280mm

280mm

280mm

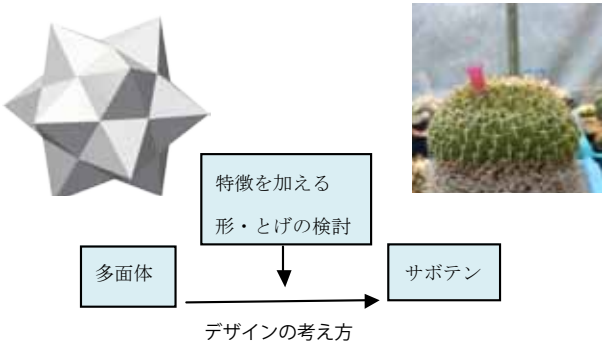
正面（上中）と上面【下）

使用イメージ

## サボテンライト

山田 尚子

私は照明の中でも、星型など多面体のシェードをもつあかりや、観葉植物のようなものにひかれ、その両方を融合したようなあかりを作りたいと思った。サボテンは植物の中でも多面体のような造形美があるので、多面体にいくつかの特徴を加えることでサボテンのような雰囲気をもつあかりを作ろうと考えた。照明だと水やりなどもしなくてよく、緑がない場所に使用して楽しめる。先輩が作った flowerlight を参考に、樹脂強化和紙で優しい光を表現した。三角形と五角形にサボテンの「とげ」に見立てた接合部分をつけ、さまざまな多面体の組合せを考えた。



## モジュールの設計・制作

樹脂強化和紙、PET 樹脂をプリンターで着色。五角形と三角形にサボテンの「とげ」に見立てた接合部分をつけた形に、レーザーカッターでカットした。

## シェード部の組み立て

小さい五角形の正 12 面体でサボテンのこぶを表現した。

正 12 面体を重ねたり、三角形と五角形を組み合わせたり、様々なバリエーションを検討した。

## 光源とスタンドの製作

植木鉢や鉢カバーをスタンドに、細長い LED ライトを立てて使用。

2 種のサボテンライト完成形

使用イメージ

# Projects

## プロジェクト作品

乙仲通界隈プロジェクト
東北・東日本大震災被災地での活動
ハウジングデザイン展／ Flower Light プロジェクト

まちづくりに関する学年を超えての取り組みや、
課外に有志のグループで取り組んだプロジェクト
をご紹介します。

# KOBE SHOIN 乙仲通界隈プロジェクトについて

乙仲通界隈は、元町駅の海側にあり、レトロモダンなビルに個性的なショップが集まる、神戸の中でもひときわおしゃれなエリアとして注目されています。ハウジングデザイン領域では、学生に人気のこの乙仲通界隈に着目し、この街の今後のよりよい発展の方向を考え、その可能性を検討し、未来像を描く取り組みをすすめています。

2014 年度は、まずこの界隈の街空間についての調査を、多くの学生が参加して行ないました。また乙仲通界隈の方々へのインタビュー等を通して、この界隈のさまざまなことを学びながら、この街が大好きな、神戸の女子大生としての学生たちの視点から、望ましい将来のありかたを構想。複数のプロジェクトを設定し、空間提案に取り組みました。このうち米原ゼミでは卒業研究として、４回生３名がこの界隈に関するテーマをそれぞれ設定して提案作品を制作。３年生８名は、街路の整備計画提案に取り組み、またこの界隈の街並みと計画の全体像を示す大きな模型を製作しました。

これらの提案は、設定した計画場所の関係者の方々のご意向をうかがってつくったものではない、全く仮想のプロジェクトですが、乙仲通界隈のこれからの可能性、そして未来の一つのイメージを描けたのではないかと思います。

2015 年３月には、乙仲通にあるミミソラオーディオさんのギャラリースペースを提供していただき、これらの作品をまとめた「神戸松蔭生が描く乙仲通界隈の未来像」という展覧会を開催させていただきました。界隈の方々、買い物客や観光客、学生たち、行政や建築関係など、多くの方々にご覧いただき、さまざまなご意見、お褒めや励ましのお言葉をいただきました。

私たちは、少しずつでも実現していくことを目指し、今後も継続して、この界隈のよりよいまちづくりにつながる活動に取り組んでいきたいと思っています。

## プロジェクトの概要

私たちは、街歩きやインタビュー、ファサード調査等を行ない、分析結果をまとめ、これらをふまえて、下記のプロジェクトを設定。計画提案を行ないました。

①乙仲通 ストリート整備計画

乙仲通は一方通行であるが、交通量も割合あり、駐停車している車も多いので、歩きやすいとはいえない。歩車共存に向けた整備が望ましい。また現況は統一された舗装や街灯など、乙仲通界隈を特定する目印がなく、街としてのまとまりが感じられないので、そういった景観要素を加える方向で整備し、ゆったり歩いて楽しめる街にしたいと考えた。道路面を石畳、レンガを用いて景観舗装。統一した街灯を設置し、乙仲通を特定できるようにする。 歩道、プランター設置により車のスピードを抑制。歩道付近の緑化をはかる。

②乙仲ゲートビル計画
③日仏ライフスタイルショップ計画
④「乙仲まちかど」店舗ビル計画
⑤「乙仲的」店舗ビル計画（みなとビル）

②から⑤は、乙仲通沿いで現況がコインパーキングになっている場所を敷地とする計画。界隈には、阪神大震災で被災したビルの後が再建されずに、平面駐車のコインパーキングとなっている場所が多いことに着目。そのうち特に重要と思われる４ヶ所をピックアップして、大小の新たなスポットとなるような事業を企画想定し、建築計画を考えた。また、各敷地に緑や少し休憩できるようなオープンスペースを確保した。

⑥今回の研究に先立ち、２年前の卒業研究で、このエリアで最も重要な歴史的建造物である「海岸ビルヂング」のリノベーション提案に取り組んだ作品があったので、これを⑥として加えた。このように、既存のレトロビルを維持し、うまく活用して行くことが、この界隈にとって、大切なテーマの一つであると考える。

「神戸松蔭生が描く乙仲通界隈の未来像」展　2015/3/21-25

「乙仲的」なファサードの事例（複数の写真からファサード画像を合成）

# プロジェクト MAP

乙仲通沿いで現況がコインパーキングの場所

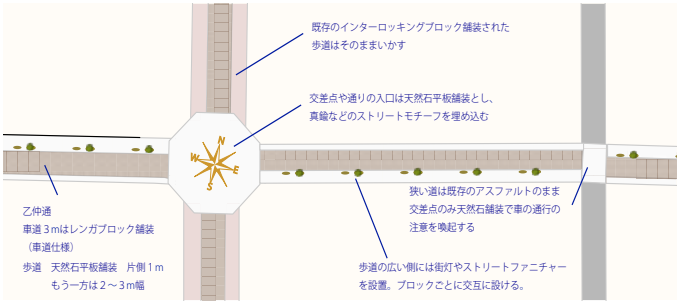
乙仲通界隈の街並み模型 (S=1/300、W1800×D900 サイズにて制作)
担当：鎌田沙帆、小林柚希、南奈緒、吉岡沙映、木下智絵、
田中沙季、畑中麻見、藤本麻那　(2014 年度３回生)

乙仲通界隈のうち、今回は東側半分を計画提案の対象範囲としました。
A～H は、阪神大震災で被災したビルが再建されていないなど、乙仲通沿いで現況がコインパーキングの平面駐車場になっている場所。今回の提案では、このうち特に重要と思われる A～D の場所をピックアップし、新たな企画を想定。それにもとづく建築計画を提案しました。E～H にも新たな建築計画が望まれます。

＊⑥海岸ビルヂングのリノベーションについては、2012 年度の卒業研究作品のため、前号の作品集（2008-13）に掲載。

乙仲通の現況

ストリート整備計画　完成イメージ（A 案）

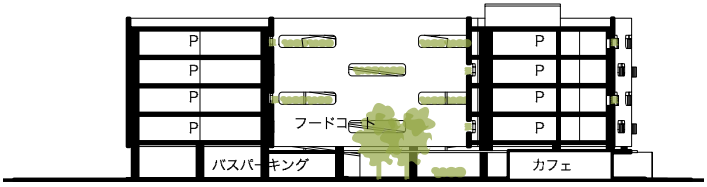


ストリート整備計画　完成イメージ（B 案）

## ① 乙仲通 ストリート整備計画

鎌田沙帆 、小林柚希、南奈緒、吉岡沙映、木下智絵 、田中沙季、
畑中麻見 、藤本麻那　（2014 年度３回生）

界隈として面的な広がりと統一感を演出するため、メインストリートの乙仲通だけでなく、直行する南北の通りのうち幅員の広い道路も一体的に景観舗装します。車のスピードを抑制し、もっと安心して歩いて楽しめる街になるよう、歩車共存型の街路整備を考えました。乙仲通の街路幅は、６～７m 程度なので、車道と歩道の段差をつけず、舗装仕上げを色分けし、車道を３m 確保して残りを両側の歩道に。照明付きプランター、ベンチなどのストリートファニチャーを設け、緑の憩える街路にします。




SECTION

## ② 乙仲ゲートビル計画・Window Display

魚谷 真帆（＋米原慶子／ 2014 年度卒業研究）

乙仲通の東側の入口にあたる鯉川筋、栄町通にも面した広い敷地（約 4000 ㎡）に、コインパーキングを立体化して集約します（乗用車 360 台収容）。大型観光バスの駐車場も 6 台分設置。乗降場としても利用し、バスによる渋滞を緩和しながら、もっと人の集まりやすい街にします。周辺観光の拠点として、1 階にはインフォメーション、ショップ、カフェや、神戸の味を気軽に楽しめるビュッフェスタイルのレストランを配置。 中央に広いデッキテラスの中庭を設け、フードコートに。イベント広場としても活用します。 景観に配慮して立体的に緑化し、街に潤いを与えます。

中庭デッキテラスののイメージ

通りとつながるように緑化。憩いのスペースを設けます。

バレンタイン

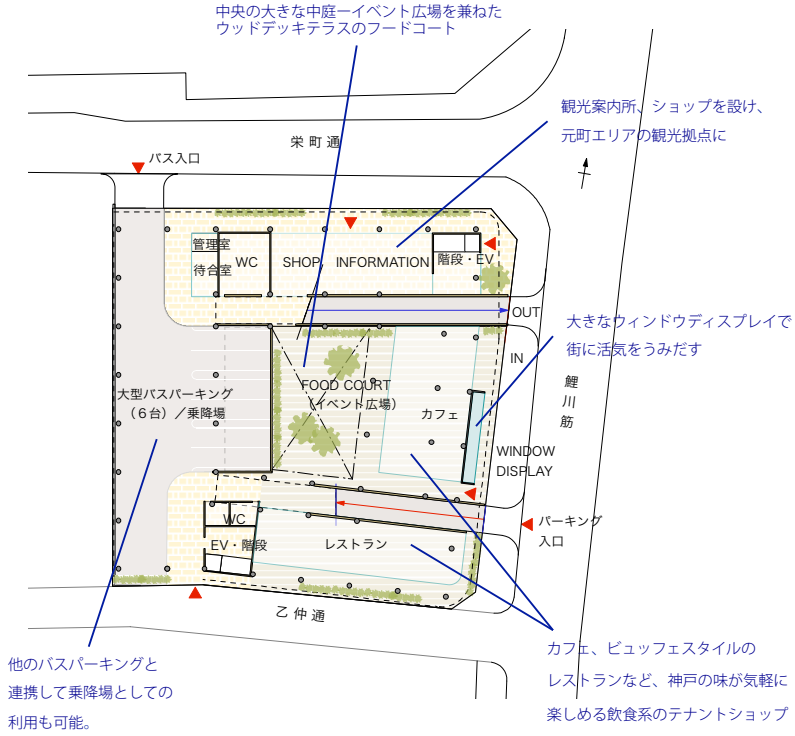
クリスマス

●ウィンドウ・ディスプレイ

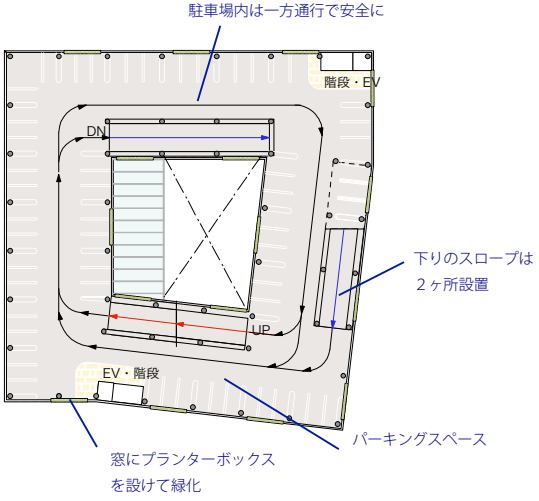
梅田の阪急百貨店やバーニーズ・ニューヨークのウィンドウ・ディスプレイのように、大きく迫力のあるディスプレイを鯉川筋に面して設置。季節ごとの雰囲気を演出することにより、街に活気を与え、旧居留地や大丸方面から、新たな人の流れをうみだします。

●計画概要

- 計画場所　神戸市中央区海岸通１丁目　SITE A
- 敷地面積　約 4,000 ㎡
- 建築面積　約 3,102 ㎡
- 延床面積　約 14,565 ㎡
  （1F 2,871 ㎡ / 2-5F 2,912 ㎡ / RF 46 ㎡）
- 駐車台数　乗用車 360 台、大型バス 6 台




1 F PLAN




2F・4F PLAN

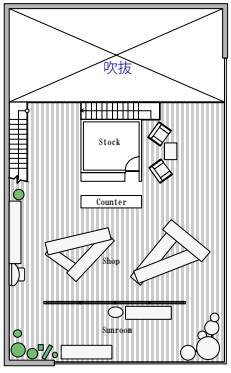
計画平面図

## ③ 日仏ライフスタイルショップ計画

森本 薫子　（2014 年度卒業研究）

私はパリへの留学経験から、まだ日本で充分には知られていないフランスのライフスタイルを紹介し、また逆に日本のライフスタイルをフランスに紹介したいと考え、日仏相互の文化交流拠点としてのライフスタイルショップを企画しました。乙仲通は、そのようなショップにぴったりの場所だと思います。パリのマレ地区にも姉妹店があるという設定で、ル・コルビュジェの作品等を参考に、フレンチ・モダンスタイルの空間デザインを試みました。１階はデリカショップとカフェ、２階は生活雑貨のショップ、３階にはサロンとライブラリー、４階にオフィスという構成です。

1F PLAN




2F PLAN

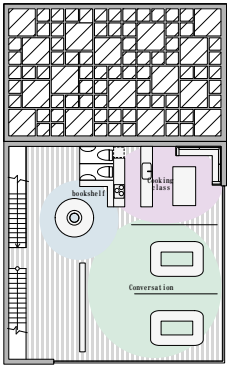
●計画概要

・計画場所　神戸市中央区海岸通 1 丁目　SITE B

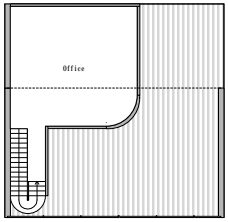
・敷地面積　約 280 ㎡

・建築面積　約 223 ㎡

・延床面積　約 616 ㎡　( 1F 215 ㎡ / 2F 186 ㎡ / 3F 154 ㎡ / 4 F 61 ㎡ )




3F PLAN

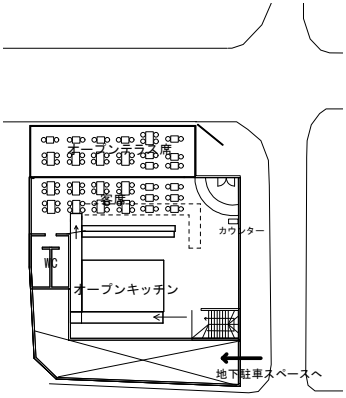



4F PLAN

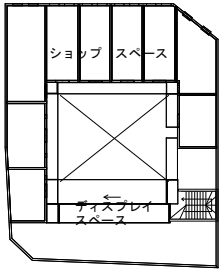
## ④ 乙仲まちかどビル　⑤乙仲的店舗ビル ( みなとビル)

杉野 由嬉子　（2014 年度卒業研究）

乙仲まちかどビルは、乙仲通の中ほどの大きな角地に建つテナントビルです。1 階には、広めのオープンテラス席を持つ、天井の高い開放的なカフェを設けます。中央には大きな吹抜けがあり、そのまわりの螺旋状のスロープに沿って、小規模なテナントショップが並び、探検心をくすぐるような、乙仲らしい奥深い迷宮的な内部空間を演出しました。4 階は中央にイベント広場と短期的に貸すショップスペースを設け、さまざまな人に出店の機会をひろげるようにしました。新しいけれど懐かしさを感じるビルをめざしました。




1F PLAN



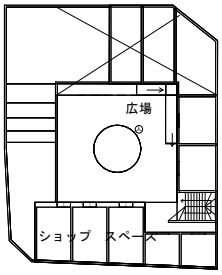

2F PLAN

●計画概要

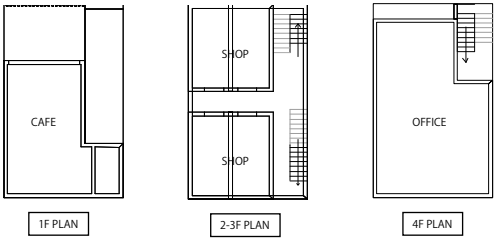
・計画場所　神戸市中央区海岸通３丁目　SITE C

・建築面積　約 578 ㎡

・延床面積　約 616 ㎡ ( 1F 215 ㎡ / 2F 186 ㎡ / 3F 154 ㎡ / 4 F 61 ㎡ )



みなとビルの１Ｆは、小さなイベントカフェスペースで、テイクアウトも可能。２・３Ｆは、乙仲らしい１室 4.5 帖ほどのテナントショップ、４Ｆは街づくりの拠点オフィス。



住田町は岩手県で内陸にあり、津波の被害はなかったが、かねてら地元産の木材を使った仮設住宅の研究をしていた。震災が起こるといち早く、めずらしい木造の仮設住宅を建設した（上）。また陸前高田・大船渡・気仙沼と同様気仙大工で知られる地域であり、独特の蔵が建っている（中）。2014 年には震災により、建設が遅れていた。木造の新庁舎が完成した。わたしたちはオープン初日に見学を許された（下）。

日本住宅会議 2012 年サマーセミナーは福島県いわき市でおこなわれ、本学から学生・教職員４名が参加した。会場は映画『フラガール』で有名になったスパリゾート・ハワイアン、震災で一時閉鎖していたが、復活した。
上は、いわきの津波被災地。

女川町の坂茂による仮設住宅とその集会所。

南三陸町の防災対策庁舎、当面宮城県が管理。

陸前高田。遠方にあるのは伊藤豊雄らによる「みんなの家」。

## 東日本大震災被災地をゆく

NPO 西山夘三記念すまい・まちづくり文庫は、全国の建築学や住居学を学ぶ学生を集めて、夏の学校を３泊４日でおこなっている。2012 年 2013 年 2014 年の３年間、岩手県大船渡市で行われ、本学から学生・教職員のべ 15 名が参加した。

上の写真は、湾の奥にある大船渡市の中心部であるが、津波で大きな被害があった。中央の茶色と白の建物は奇跡的に残ったホテル福富で、ここを拠点にワークショップをくりひろげた。手前は仮設商店街などである。

ホテルの食堂にて、調査してきたことをまとめるワークショップ。

仮設商店街の中でのフェアウェル・パーティ。

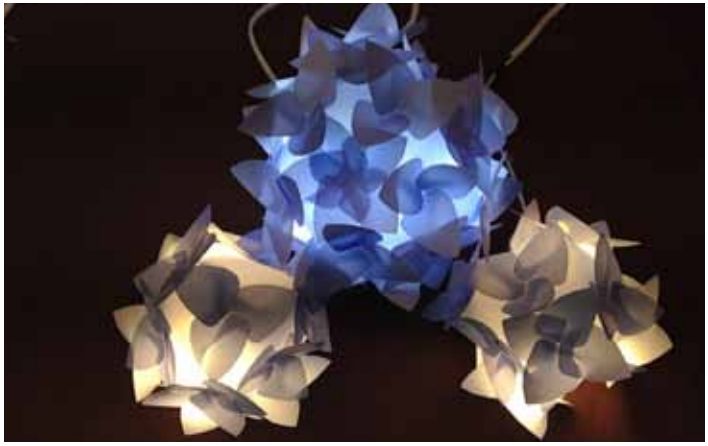
大船渡湾の入り口にある、景勝地碁石海岸にちなんで「ごいっしー」というキャラクターを、本学科学生の南奈緒さん (2014 年度 3 年生 ) が提案。
キーホルダーとして製品化された。

フラワーライトのモチーフ・制作者一覧

| | |
|---|---|
| 星 | 南奈緒 |
| アジサイ | 南奈緒 |
| コスモス | 長谷川絵美 |
| ネモフィラ | 藤光美咲 |
| ヤマボウシ | 米原慶子 |
| ネモフィラ | 鎌田沙帆 |
| コデマリ | 藤井香帆 |
| ダリア | 森瑠那 |
| カーネーション | 森瑠那 |
| アジサイ | 村松美沙・藤本季咲 |
| コルカチム | 藤田夕貴 |
| フヨウ | 小山瑠里子 |

## ハウジングデザイン展 / Flower Light プロジェクト

ファッション・ハウジングデザイン学科では、毎年11月の大学祭において『ハウジングデザイン展』を開催しています。展示内容は、主に演習授業の設計課題や課外活動、そして学びをいかしたワークショップです。今年は、フラワーライトを中心に立体折り紙、ペーパークラフトをしました。フラワーライトは、IQ ライトを参考にして 2013 年度の卒業生が考えた作品です。花びらをモチーフにした単一のパーツを組み合わせることによって立体的な形ができる照明器具です。今回は主に、一年生が様々な花をモチーフにしてフラワーライトの多様なバリエーションをデザイン、制作。これらを企画展示し、ワークショップでは参加者に制作を体験してもらいました。



# ハウジングデザインの学び

## カリキュラム／授業・活動風景

ハウジングデザインは、私たちの住まいや身近な生活空間のよりよいあり方を考える分野です。家具、照明などのインテリアエレメントから、様々な住空間、スケールの大きなまちづくりまで、幅広く学びます。
カリキュラムはインテリア・住居・まちづくりの３分野に、共通のベースとなる建築基礎を加えた４つの科目群で構成されます。それぞれに講義科目、演習科目、実習科目が設けられ、総合的にハウジングデザインを学ぶことができます。講義科目では、住居学、建築学の様々な知識を学び、演習科目では、文献や雑誌を読んだり、建築見学や街歩きなどの体験レポート、企画書作成等に取り組みます。実習科目では、様々な課題の作品制作に取り組み、手描きや CAD による製図、模型、パースなどにより、イメージした空間を表現します。そして出来上がった作品は、みんなの前で発表し、トータルなプレゼンテーション力を養います。
３年以降は、いずれかのゼミに所属し、各自の興味あるテーマに取り組み、卒業研究として作品または論文にまとめます。インターンシップでは、建築実務の現場を体験。また二級建築士やインテリアコーディネーター等の資格取得を目指す人をサポートしています。
2013 年度入学生（６期生）以降は、カリキュラム改編により、インテリア系科目や実習科目をさらに充実させ、作品のレベルアップをはかっています。

ハウジング業界の各方面で活躍する先生方の授業があります

大きな街並み模型をみんなで制作

ゼミ旅行でしまなみ海道の大三島・ところミュージアムへ

学外研修で建築作品展へ

### カリキュラムの流れ

**基礎段階**
1～2年次
（共通領域）

- デザイン基礎
- イメージリテラシー
- 生活文化

↓

**展開段階**
2～3年次
（ハウジングデザイン領域）

- 住居
- インテリア
- まちづくり
- 建築基礎

↓

**統合段階**
3～4年次

- インターンシップ
- 卒業研究

### 開講科目 （2014 年度ハウジング領域・共通領域専門科目）

ハウジングデザイン概論
まちづくり論
ヒトとデザイン
生活文化概論
ライフスタイル論
デザインの仕事
阪神デザイン論

FHD 基礎演習 A・B

イメージリテラシー入門
イメージリテラシー I・II
I / 生活アート実習
II / デザインスキル実習

ハウジングデザイン論 I
ハウジングデザイン論 II
建築計画学
景観論
住文化論
住居史
建築一般構造
構造力学
建築材料学
建築施工学
建築関連法規
室内環境論
生活福祉学

生活防災学
住宅再生論
生活エコロジー論
家族社会学
インテリアエレメント論
インテリアスペース論
ガーデニング論

イメージリテラシー III・IV・V
III/ イメージリサーチ演習
IV/ カラーコーディネート演習
V / プレゼンテーション演習

ハウジングデザイン実習 IA・IB
ハウジングデザイン実習 IIA・IIB
ハウジングデザイン実習 III・IV
インテリアデザイン実習

ハウジングインターンシップ

デザイン特別演習（プレゼミ）
卒業研究（ゼミ）

少人数の授業が多く、先生との距離が近いのが特徴です

設計実習では、建築家の先生の丁寧な個別指導を受けます

設計製図は手描きと CAD を学びます

フィールドワークで学外に出かける授業もたくさん

学外の工房での作品制作も

各学期末には実習作品の発表講評会を開催

伊東豊雄建築ミュージアムにて

松蔭祭にてそろいのツナギで自作のクラフトショップを出店

芦屋の旧山邑邸を見学

卒業研究展。展示と発表を行ないました

乙仲通界隈プロジェクト展には、先輩たちも来てくれました

公式ブログにて学科の情報も発信しています。
こちらも是非、ご覧ください。
http://kobe-shoin.cocolog-nifty.com/fhd/

# 卒業生紹介

## 2013-15 卒業生インタビュー

神戸松蔭のファッション・ハウジングデザイン学科でハウジングデザイン領域を専修した卒業生たちは、大学での学びを活かして多方面で活躍しています。
今回、１期生から４期生までの卒業生のうち、６人の方に、近況や大学在学中のことについて、お話を聞きました。

### 岡田 紗弥果

２期生
2013 年卒

㈲一級建築士事務所アトリエフォルム　勤務

入社してから３年目になります。４年間大学で勉強していましたが、いざ設計事務所で働くと知らないことが多々あり、刺激的な毎日を送っています。大学時代は課題に沿って自由に設計していましたが、現実は施主との打合せの繰り返しです。間近でその様子を見ていて、上司や先輩が施主の要望に対し様々な案を提供する姿に感銘を受けています。
学生時代にもっと有名な建築家の建物巡りをしていれば良かったとよく思います。大学生の皆さんには悔いることのない４年間を過ごしてほしいです。

### 合田 有希

２期生
2013 年卒

㈲合田工務店リファイン網干　勤務

私の仕事は、工務店の事務と営業をメインにしています。 中でもキッチンやお風呂の水回りのコーディネート提案や、照明のプランなどを主にお客様と一緒になり家を作っていく業務をしております。 当然、お客様からも学ぶことが多いので日々勉強になります。まだまだ知識不足ですので神戸松蔭の先生方から学んだ知識とデザインセンスを磨いていき、一件一件にどんどん自分のアドバイスを取り入れた工事ができるよう活躍できたらと思います。

### 奥川 英里子
### 三藤 綾加

３期生
2014 年卒

アトリエジグソー ( 建築設計事務所 )　勤務
左：奥川英里子　右：三藤綾加

私たちは建築設計事務所に勤務しており、業務内容はひとつの平面図から複数のテイストの立面図を考える事や、図面を見てテイストに合わせた外装材・屋根・玄関ドアや、室内の壁紙・建具・床などのデザインや色を選んでコーディネート提案をしています。その他には、取引先から送られてきたデータを基に、住宅に使用する建具のデザイン・カラーバリエーション・図面・イメージ写真を載せて提案資料として作成するなどの様々な事をしています。大学で学んだ知識を活かし、更に事務所でも多くの業務を通して日々学んでいます。

### 中里 桐花

４期生
2015 年卒

フリーのクリエイターとして活動中

ふつうの就職という道を選ばず、自分による手作り作品の販売を始めました。今は近畿を中心として活動しています。たくさん人の目に留まるよう、進んでイベントに参加しています。当面の目標だった。デパートへの出店もかないました。とにかく前に前に、来年からも活動範囲を広めるべく、コツコツと製作に力をいれています。
河童、鯉、富士山など、オリジナルグッズのシリーズを開発中です。

### 山田 尚子

４期生
2015 年卒

大和ハウス工業株式会社 勤務

私は、自社物件の修繕に関することに携わる部署で働いています。予算の管理やコストの削減などを目標に、業務に取り組んでおり、私はその中で全般に庶務の他、最近固定資産の業務も担当しています。毎日朝から夜まで、パソコンとにらめっこで疲れますが（笑）、上司も仕事にまじめな良い人ばかりで、とても充実しています。在学中、ハウジングを学び、宅建資格も取得したことで、入社後は、図面を見るにもゼロからではなく、少し知識のある状態でスタートできたことはよかったと思います。

# 教員紹介

## ハウジングデザイン領域

ハウジングデザイン領域の担当教員は、多彩な顔ぶれにより構成されています。基礎演習や卒業研究は、３人の専任教員が担当。その他の講義・演習や実習授業では、実務の現場で活躍している建築家や各方面の専門家の講師陣も多数担当。実践的で役に立つ授業を行い、実習助手もきめ細やかにサポートしています。

### 専任教員

中林 浩　教授
京都大学大学院工学研究科博士課程建築学専攻修了
博士（工学）
専門分野：都市計画学、まちづくり

増永 理彦　教授
京都大学大学院工学研究科修士課程建築学専攻修了
博士（学術／大阪市立大学）
専門分野：高齢者居住、マンション再生など住居全般

米原 慶子　専任講師
大阪市立大学生活科学部住居学科卒業
ケイズアーキテクツ・夙川アトリエ主宰
専門分野：建築設計学、インテリアデ ザイン

### 非常勤講師　（2015 年度）

中村 博明　中村博明建築設計事務所 主宰

荒谷 省午　荒谷省午建築研究所 主宰

十亀 啓　インテリアデザイナー

永村 悦子　園田学園女子大学准教授

矢代 恵　MEG 建築設計事務所 主宰

長瀬 りか　ＲＨ＋計画研究室 主宰

川瀬 琢己　一級建築士事務所ユニットワン 主宰

吉田 文男　一級建築士事務所アトリエフォルム 主宰

守屋 宣章　株式会社 TAK エンジニアリング勤務

池田 裕彦　株式会社 三弘建築事務所 大阪事務所 所長

井上晋一　井上晋一建築研究所 主宰

植田 道則　株式会社 竹中工務店 設計部 勤務

榊原 節子　榊原節子建築研究所 主宰

笠原 一人　京都工芸繊維大学工芸科学研究科助教

加茂 みどり　大阪ガスエネルギー文化研究所勤務

清水 光次　清水計画室 代表

高坂 憲治　地域計画建築研究所大阪事務所勤務

蔵田 優美　京都工芸繊維大学大学院博士後期課程

小山 明子　akka 一級建築士事務所 共同主宰

石原 凌河　大阪府立大学 地域連携研究機構 特認助教

### 実習助手

鈴木 亮太　筑波大学大学院博士前期課程
芸術専攻建築デザイン領域修了

# Housing Design

ハウジングデザイン作品集　vol.2

神戸松蔭女子学院大学 人間科学部
ファッション・ハウジングデザイン学科

発行日 / 2015 年 10 月 19 日
発行元 / 神戸松蔭女子学院大学 人間科学部
ファッション・ハウジングデザイン学科
〒 657-0015 神戸市灘区篠原伯母野山町 1-2-1
表・裏表紙絵 / 田中 沙季
編集・デザイン / 米原慶子・鈴木亮太
印刷・製本 / 福田印刷工業株式会社